

朝霞市行政改革推進実施計画
【令和6年度版】

令和6年2月

朝霞市

行政改革の柱と主な取組

(1)集中的に実施する取組

取組名	実施項目	シート 番号
1 デジタル化の推進	1 行政手続の電子化	1
	2 ICT の導入による事務の効率化	2
2 公共施設等の計画的な 管理・運営	1 公共施設等の計画的な管理・運営	3

(2)定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組

取組名	実施項目	シート 番号
1 持続可能な財政運営	1 枠配分予算方式による予算編成	4
	2 多様な財源の創出・確保	
	3 補助事業の見直し	
2 市民との協働の推進	1 市民との協働の推進	5
	2 地域に関与する市民や団体の育成	
3 業務委託等の活用	1 業務委託の活用	6
	2 指定管理者制度の検証	
4 機能的な組織づくり	1 組織機構の見直し	7
	2 審議会の見直し	

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和6年度】

シート番号	1	分類	(1) 集中的に実施する取組
取組名	1 デジタル化の推進	実施項目	1 行政手続の電子化
推進課	デジタル推進課		
目的	来庁することなく申請・手続ができる手段を提供することなどにより、市民の利便性の向上を図る。		
取組内容	<p>①電子申請の拡充 各課における行政手続の電子申請(オンライン申請)の拡充を図る。また、国が「特に国民の利便性向上に資する手続」としている子育てや介護関係の26手続について、マイナポータルを利用した「ぴったりサービス」の活用を目指す。</p> <p>②キャッシュレス決済への対応 窓口での使用料や手数料などの支払にキャッシュレス決済を導入する。</p> <p>③自治体情報システムの標準化・共通化 対象となる20業務の自治体情報システムについて、国が求める令和7年度末までに、標準仕様に準拠したシステムへ移行する。</p>		
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を問わず行政手続が行えることにより、市民の利便性が向上する。 ・現金の収受を省いた迅速な決済が行えることにより、手続に要する時間が削減され、市民の負担が軽減される。 ・接触機会を減らすことにより、感染症の感染リスクが低減される。 		

1. 実施スケジュール

取組内容	令和6年度				令和7年度				令和8年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
①電子申請の拡充	→ 手続の拡充 (関係課と調整・導入)		→ 検証		→ 手続の拡充 (関係課と調整・導入)		→ 検証		→ 手続の拡充 (関係課と調整・導入)		→ 検証	
②キャッシュレス決済への対応	→ 決済の拡充 (関係課と調整・導入)		→ 検証		→ 決済の拡充 (関係課と調整・導入)		→ 検証		→ 決済の拡充 (関係課と調整・導入)		→ 検証	
③自治体情報システムの標準化・共通化	→ 標準仕様に準拠したシステムへの移行準備			→ 環境構築・データ移行				→ 運用開始				

2. 関連する指標・数値等

- ①電子申請が可能となった手続数
- ②キャッシュレス決済を導入した事業数
- ③標準仕様に準拠したシステムへの移行完了業務数

3. 実績

4. 今後の方向性

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和6年度】

シート番号	2	分類	(1) 集中的に実施する取組
取組名	1 デジタル化の推進	実施項目	2 ICTの導入による事務の効率化
推進課	デジタル推進課		
目的	デジタルツールを導入、活用することにより、業務の効率化を図る。		
取組内容	<p>①定型的な業務にICT導入 AI※1やRPA※2、電子決裁、GIS(地理情報システム)などデジタルツールの導入やテレワーク環境の整備を検討する。また、音声自動テキスト化システムを活用することにより、職員の事務効率化を図る。</p> <p>②WEB会議システムを活用した会議等(市主催)の開催 市民向け講座、会議等にWEB会議システムを活用する。</p> <p>※1 AI:Artificial Intelligenceの略称で、人工知能のこと。人間の思考プロセスと同じような形で動作するプログラム、あるいは人間が知的と感じる情報処理技術。</p> <p>※2 RPA:Robotics Process Automationの略称。ロボットによる業務自動化。これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化することを指す。</p>		
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・業務効率化により生まれた人的資源を相談・企画等の非定型的な業務にあてることなどで、市民サービスの向上を図ることができる。 ・WEB会議システムを活用し、市民が参加しやすい環境を整えることにより、市民向け講座の開催形態の多様化や会議等を中止や延期することなく開催することができる。 		

1. 実施スケジュール

取組内容	令和6年度				令和7年度				令和8年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
①定型的な業務にICT導入	事例研究・関係課と調整・実証実験・導入 → 検証				事例研究・関係課と調整・実証実験・導入 → 検証				事例研究・関係課と調整・実証実験・導入 → 検証			
AI-OCR、RPA	活用事務の拡充 →		検証		活用事務の拡充 →		検証		活用事務の拡充 →		検証	
GIS (地理情報システム)	レイヤーの拡充 →		検証		レイヤーの拡充 →		検証		レイヤーの拡充 →		検証	
電子決裁	構築(関係課と調整・試行・検証) →				運用開始 →							
②WEB会議システムを活用した会議等(市主催)の開催	実施 → 検証				実施 → 検証				実施 → 検証			

2. 関連する指標・数値等

- ①削減した事務処理時間数
- ②WEB会議システムを活用した会議等の数及び市民向け講座の開催回数

3. 実績

4. 今後の方向性

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和6年度】

シート番号	3	分類	(1) 集中的に実施する取組
取組名	2 公共施設等の計画的な管理・運営	実施項目	1 公共施設等の計画的な管理・運営
推進課	政策企画課、財産管理課		
目的	市民が公共施設を将来にわたって安心して利用できるよう、計画的な維持管理を図る。		
取組内容	<p>①公共施設の維持管理費縮減 「朝霞市公共施設等マネジメント実施計画」に基づき、維持管理費縮減について検討を行う。</p> <p>②公共施設(未利用地含む)の有効活用 公共施設(未利用地含む)を有効活用できるよう検討を進める。</p> <p>③「朝霞市公共施設マネジメント基金」の活用 朝霞市公共施設マネジメント基金を設置し、公共施設の保全及び更新に必要な経費の財源を積み立て、今後の修繕費用に充てる。</p>		
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝霞市公共施設等マネジメント実施計画」に基づいた適切な維持管理の手法を実施することで、経費削減を図る。 ・公共施設(未利用地含む)を有効活用することで不動産貸付料による増収につながる。 ・「朝霞市公共施設マネジメント基金」を適切に運用することで、今後見込まれる多額の必要経費に備える。 		

1. 実施スケジュール

取組内容	令和6年度				令和7年度				令和8年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
①公共施設の維持管理費縮減	→ 実施		→ 検証		→ 実施		→ 検証		→ 実施		→ 検証	
②公共施設(未利用地含む)の有効活用	→ 実施		→ 検証		→ 実施		→ 検証		→ 実施		→ 検証	
③「朝霞市公共施設マネジメント基金」の活用	→ 積立・運用		→ 検証		→ 積立・運用		→ 検証		→ 積立・運用		→ 検証	

2. 関連する指標・数値等

- ①公共施設の維持管理費の縮減額
- ②貸付等による収入額
- ③「朝霞市公共施設マネジメント基金」を充当した事業数

3. 実績

4. 今後の方向性

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和6年度】

シート番号	4	分類	(2) 定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組
取組名	1 持続可能な財政運営		
推進課	政策企画課、財政課		
目的	厳しい財政状況が続く中、将来にわたって市民サービスが適切に提供できるよう、予算編成の過程において既存事業の見直しや自主財源の確保を行い、限られた財源の有効活用を図る。		
実施項目	<p>① 枠配分予算方式による予算編成 厳しい財政状況の中、収入に見合った予算編成ができるよう、職員一人ひとりがコスト意識を持ち、既存事業の優先順位付けやコスト削減に向けた見直しを徹底する。</p> <p>② 多様な財源の創出・確保 国や県の補助金を有効的に活用できるよう、新規事業や部署を横断する事業等を実施する際には関係部署と連携を図る。あわせて、ふるさと納税の活性化、有料広告収入の拡大など新たな自主財源の創出・確保(ガバメントクラウドファンディング、ネーミングライツなど)を目指す。</p> <p>③ 補助事業の見直し 他市の状況や市民ニーズを踏まえ、市単独の支援制度の必要性や適正水準を検討し、公平性の確保を図る。</p>		
実績及び今後の方向性 (年度末に記入)	実績	今後の方向性	

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和6年度】

シート番号	5	分類	(2) 定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組
取組名	2 市民との協働の推進		
推進課	政策企画課、市政情報課、地域づくり支援課		
目的	様々な世代の市民が、市政やまちづくりに関われるような仕組みを構築することにより、市と市民との協働によるまちづくりを推進する。		
実施項目	<p>①市民との協働の推進 市民参画を推進するための制度(公募委員、市政モニター制度など)が、より有効に機能するよう、改善と拡充に取り組む。また、市民活動団体などと協働・連携した行政運営を図る。</p> <p>②地域に関与する市民や団体の育成 講座や講演会等の開催を通じて、地域での活動に関心を持つ人材を発掘するとともに、近隣市の団体との交流を図るなど、NPO法人等の市民活動団体の活動を支援する。</p>		
実績及び今後の方向性 (年度末に記入)	実績		今後の方向性

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和6年度】

シート番号	6	分類	(2) 定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組
取組名	3 業務委託等の活用		
推進課	政策企画課		
目的	行政サービスを効果的かつ効率良く提供し、市民サービスを向上させるための業務委託について検討する。		
実施項目	<p>①業務委託の活用 業務の必要性、効率性を精査し、質の高い行政サービスの提供が可能となる事業について、業務委託を検討する。</p> <p>②指定管理者制度の検証 現在の指定管理者制度について検証し、より有効な施設の管理に向けて今後の在り方を検討する。</p>		
実績及び今後の方向性 (年度末に記入)	実績	今後の方向性	

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和6年度】

シート番号	7	分類	(2) 定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組
取組名	4 機能的な組織づくり		
推進課	政策企画課		
目的	社会状況の変化に伴って多様化する行政需要に対し、機動的に対応するための組織づくりを図る。		
実施項目	<p>①組織機構の見直し 多様化する行政需要に対応するため、組織機構及び所掌事務の見直しを行う。 また、臨時的対応が必要な事務や複数部署にまたがる事務などについては、適宜プロジェクト・チームを設置し、迅速かつ柔軟に対応する。</p> <p>②審議会の見直し 審議会等の効率的な活用を図るため、性質の似た会議体の整理・統合を行うなど、審議会等の在り方を検討する。</p>		
実績及び今後の方向性 (年度末に記入)	実績	今後の方向性	

朝霞市行政改革推進実施計画【令和6年度版】
(令和6年2月発行)

発行 朝霞市
編集 政策企画課
〒351-8501
埼玉県朝霞市本町 1-1-1
電話 048-463-1111(代表)
URL <https://www.city.asaka.lg.jp>